

【研究方法】

講義NO.	分類	講義タイトル	講師	内容	視聴時間
3105	総論	臨床疫学研究:基本の基本	国際医療福祉大学 未来研究支援センター 教授 山崎 力 先生	はじめに/疫学と交絡/統計的推測/臨床研究のルールとマナー	0:39:04
3006	総論	疫学の基本を再考する	自治医科大学公衆衛生学教室 教授 中村 好一 先生	はじめに/疫学について/臨床医学の進み方/RCTの問題点/決定論的法則と経験論的法則/観察研究の重要性/さいごに	0:38:04
2801	総論	疫学手法と評価指標	京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター EBM推進部 教授 上嶋 健治 先生	はじめに/1.疫学とは何か/2.横断研究/3.コホート研究/4.症例対照研究/5.ポートフォリオアプローチ	0:31:52
2802	総論	循環器病予防の疫学研究の動向	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授 /アジア疫学研究センター センター長 三浦 克之 先生	はじめに/1.死亡率から見た脳卒中/2.脳梗塞発症者における病型別割合/3.循環器危険因子の発見/4.NIPPON DATA/5.血圧と循環器リスク/6.循環器疫学研究の歩み	0:48:21
3201	各論	循環器領域の教育介入試験の実際	京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 臨床看護学講座 クリティカルケア看護学分野 西山 知佳 先生	はじめに/実験背景/実験方法/実験評価/実験結果/最後に	0:46:32
3107	各論	標本サイズの決め方	東邦大学医学部社会医学講座 医療統計学分野 教授 村上 義孝 先生	研究計画の必要性/統計手法の使い分け/統計的仮説検定とサンプルサイズの理論/データ管理の重要性	0:36:34
3108	各論	特定臨床研究計画の実際	奈良県立医科大学附属病院 臨床研究センター センター長 笠原 正登 先生	はじめに/臨床試験とは?/ランダム化/特定臨床研究の実際/高尿酸血症の問題点	0:40:50
3109	各論	保健指導の有効性の研究方法	生活習慣病予防研究センター 代表 岡山 明 先生	はじめに/保健指導効果に関する研究の視点/保健指導効果評価の基礎/具体的な研究デザイン/研究の企画実施のポイント	0:35:49
3111	各論	疫学研究に必要な統計学	東京大学大学院医学系研究科 生物統計情報学講座 准教授 平川 晃弘 先生	はじめに/エンドポイントのタイプ/エンドポイントに応じた解析手法/ALSの観察研究の事例	0:41:19
3114	各論	循環器研究のためのQOL評価	九州大学大学院 医学研究院 保健学部門 教授 樗木 晶子 先生	はじめに/QOLの概念と評価の意義/QOL測定のための調査尺度の種類/QOL調査を行う時の注意点/循環器研究におけるQOL評価	0:36:08
3115	各論	循環器疾患に関する薬剤疫学研究	東京大学大学院医学系研究科 生物統計情報学講座 特任教授 小出 大介 先生	はじめに/薬剤疫学と医療データベース/薬剤疫学に利用可能なデータベース/医療DBを使う際の注意点/薬剤疫学研究の事例/副作用の自発報告データベースの利用/まとめ	0:39:00
3007	各論	コホート研究の分析でできる/できない/すべきこと 生物統計的なアプローチ	東邦大学医学部社会医学講座 医療統計学分野 教授 村上 義孝 先生	はじめに/0.ビデオの復習/1.p値とはなにか?(その限界と95%信頼区間)/2.コホート研究の分析で気を付ける点	0:36:22

3010	各論	臨床研究の企画と管理	京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター EBM推進部 教授 上嶋 健治 先生	はじめに/ジキタリスから見る現代の臨床研究/臨床試験に必要なもの/質の高いプロトコルを作成するには?/臨床研究の進め方/臨床研究の限界/最後に	0:47:10
2901	各論	観察研究論文執筆のポイント:STROBE	秋田大学大学院医学系研究科 公衆衛生学講座 教授 野村 恭子 先生	はじめに/論文文化を始める前にまず考えるチェックポイント/実際の論文を書く/医学論文の構成要素/代表的なバイアス/サンプルサイズの計算方法/結果で記載しなければならないこと	0:44:21
2902	各論	人を対象とした研究の倫理 —保健科学研究を中心として	自治医科大学公衆衛生学教室 教授 中村 好一 先生	はじめに/疫学について/倫理とは?/疫学研究を実施するにあたっての倫理宣言/インフォームド・コンセント/インフォームド・コンセントの手続きの場合分け/倫理審査/最後に/若干の宣伝	0:55:34
2803	各論	研究デザイン、サンプルサイズ、統計解析	東邦大学医学部 社会医学講座 医療統計学分野 教授 村上 義孝 先生	はじめに/1.医学研究における検定と推定/2.実解析でのポイント/3.交絡とは?/4.交絡:データ解析時の対応/さいごに	0:39:15
3102	個別研究の紹介	循環器疾患とその危険因子の国際比較 ※	滋賀医科大学社会医学講座 公衆衛生学部門 准教授 藤吉 朗 先生	はじめに/循環器疾患 死因/循環器疾患の長期推移/脳卒中、冠動脈疾患 日米比較/古典的危険因子の最近の推移/まとめ	0:25:02
3106	個別研究の紹介	女性の動脈硬化性疾患指標分析のポイントと予防の展望	獨協医科大学医学部公衆衛生学講座 主任教授 小橋 元 先生	はじめに/なぜ女性の分析・予防が必要なのか?/女性研究の難しさと指標分析のポイント/性差疫学から成育予防社会医学へ	0:44:53
3112	個別研究の紹介	フィールド調査のポイント	獨協医科大学医学部公衆衛生学講座 准教授 梅澤 光政 先生	はじめに/フィールドの設定/健診による調査/フィールド調査の実践~アルコールの調査/まとめ	0:39:20
3008	個別研究の紹介	動脈硬化性疾患をターゲットとしたコホート研究の企画と管理	愛媛大学大学院医学系研究科 地域健康システム看護学 教授 斉藤 功 先生	はじめに/コホート研究の企画/基本的な検査の精度/アウトカム/死亡調査/CVD発症の発見方法/まとめ	0:36:34
3013	個別研究の紹介	これからの動脈硬化評価—Vascular biomarkerによる心血管疾患の管理	東京医科大学健診予防医学センター センター長 山科 章 先生	はじめに/医師法/高リスクアプローチと集団アプローチ/心血管疾患の連鎖/血管機能検査法/血管の硬さが重要という概念の普及/脈波速度の基準値の策定/社会全体を考える/さいごに	0:46:28
2903	個別研究の紹介	米国における循環器疫学研究の実際	兵庫医科大学臨床疫学 助教 松本 知沙 先生	はじめに/米国におけるCVD/米国大規模循環器コホート/米国疫学における人材育成	0:28:01
2904	個別研究の紹介	ストレス関連指標分析のポイント —職業性ストレス研究を例に	北里大学医学部 公衆衛生学 教授 堤 明純 先生	はじめに/ストレスの評価方法/研究計画の立案と測定系の確立/リサーチクエスションのヒント	0:25:41